



☀本格的な夏が到来☀

調査するのに一番危険なシーズンがやってきました。気温は35℃超え、水温もなんと30℃以上ありました。

大きなクーラーボックスに大量の氷を詰め、スカイブリッジの日陰に逃げ込みながらの調査です。

そんな中でも、たくさんの生き物たちが出迎えてくれました。

今月のおさかな



多摩川で一番大きいハゼ ウロハゼ

小型地曳網では、いつも通りのメンバー（マハゼやビリンゴなどのハゼ類）に加えて、ギマやトウゴロウイワシなど、夏の間だけ干潟にやってくる魚が捕れました。

今月の注目はウロハゼです！しゃくれ顔が特徴的なウロハゼは、約20cmに成長し、多摩川河口で（東京湾でも）一番大きいハゼのようです。岩の間やくぼみなどに隠れているので、捕まえる際はそういうところを狙ってみては？（とても美味しいサカナらしい…）

今月の人気者



干潟の人気者 マテガイ

干潟を少し掘り返すと、マテガイが出てきました。細長い筒形の貝殻をも持ち、おおよそ10cmに成長します。今回は、2cmほどの稚貝でした。

マテガイは美味しいので、潮干狩りの人気者です。干潟にできた穴に食塩を入れると、刺激を受けたマテガイがひょっこりと出てくることがあるそうです。